

メッセージ 5

エペソ人への手紙の中で啓示されているように、
キリストのからだの実際のために、ミングリングされた霊の中で生きる

(2)

聖書：エペソ2:22 . 3:16-21

- ．わたしたちの霊は神の住まいです。わたしたちは「共に建造されて、霊の中にある神の住まいへと至るのです」 エペソ2:22：
- A．わたしたちは主を仰ぎ望んで、主がわたしたちをあわれみ、わたしたちの目を開き、以下の事を見せてくださるよう求めるべきです。それは、手順を経て究極的に完成された三一の神が、すべてを含む霊として、わたしたちの霊の中に住んでおり、わたしたちの霊とミングリングされて一つ霊となっているということです コリント15:45後半 . コリント3:17 . ローマ8:16 . コリント6:17 . 参照、啓3:18。
- B．神の目に最も喜ばしいことは、わたしたちが霊の中に、すなわち、神の住まいの中にとどまることです。「霊の中で」が、一日中わたしたちを支配し、わたしたちのすべての活動を導くべきです。わたしたちの最高の享受と経験は、主がその霊としてわたしたちの霊と共におられることと、わたしたちがわたしたちの霊の中で彼を、恵みの臨在として享受することができるということです ローマ1:9 . 8:16 . ヨハネ4:24 . コリント2:13 . テモテ4:22 . ガラテヤ6:18。
- C．わたしたちの再生された霊は、神の住まい、神の家であり、また地上における基礎であって、その上に天のはしごであるキリストは立てられました。このゆえに、わたしたちが自分の霊に戻るときはいつも、キリストをはしごとして経験します。これは、神をわたしたちの中にもたらし、わたしたちを神の中にもたらし、神と人とをミングリングさせます 創28:12-17 . ヨハネ1:51。
- D．わたしたちの霊は、至聖所、すなわち、三一の神の具体化である霊なるキリストの住まいです。このキリストは契約の箱によって予表されており、契約の箱の中には、隠されたマナ(すべての供給の神聖な源としての父なる神を表徴する)があり、芽を出した杖(復活としての子なるキリストを表徴する)があり、律法の石板(命の霊が内なる命の法則であることを表徴する)がありました 出25:22 . 26:33-34 . ヘブル9:3-4 . 10:19-22 . ヨハネ11:25 . ローマ8:2, 16：
- 1．復活し昇天したキリストを予表する香壇でのわたしたちの祈りを通して、わたしたちは至聖所の中に、すなわち、わたしたちの霊の中に入ります。そこにおいてわたしたちは、証しの箱とその内容としてのキリストを経験します。
 - 2．わたしたちの霊の中でキリストをそのように経験することを通して、わたしたちは彼の中へと合併され、団体のキリストの一部となって、神の証しとなり、神を現します 出38:21 . コリント12:12。
- E．キリストのからだとしての召会の実際は、ミングリングされた霊の中で生きること

です：

- 1．わたしたちの霊は、召会、すなわち、神の住まいの建造がある所です。すべての霊的事柄の実際はこの霊の中にあります。すなわち、召会そのものはこの霊の中にあり、召会の建造もこの霊の中にあり、召会の永遠の証しもこの霊の中にあります エペソ2:22。
 - 2．霊の中で生きることが、わたしたちのクリスチャン生活と召会生活の秘訣とかぎです。霊の中で生きるとは、キリストにわたしたちを満たし浸透していただき、ついには彼がわたしたちの全存在に飽和し、それによってわたしたちを通して表現されるようになることです。
- ．わたしたちの霊は、わたしたちの内なる人、わたしたちの新しいパーソン、わたしたちの新しい霊、わたしたちの新しい人です。わたしたちは祈って、力をもって内なる人の中へと増強される必要があります。それは、からだの生活の実際のため、すなわち、命としての内住のキリストに対する内なる経験のためであり、召会の中で神に栄光を得させます 3:16-21：
- A．エペソ第1章が啓示していることは、わたしたちの霊が、わたしたちが召会に関する啓示を受ける器官であるということです。エペソ第3章では、わたしたちの霊は、一つのパーソン、すなわち、内なる人であって、わたしたちに召会のためにキリストを経験させます。その霊としての主によって内住され、ミングリングされているわたしたちの再生された霊は、内なる人です：
- 1．わたしたちが再生される前、わたしたちのパーソンは、わたしたちの魂、わたしたちの古い人でした。わたしたちが再生された後、わたしたちの新しい霊、わたしたちの新しいパーソン、わたしたちの新しい人が、わたしたちの内なる人です
ローマ6:6．使徒2:41．ヘブル12:9後半．ヨハネ3:6．コリント4:16．エゼキエル36:26。
 - 2．キリストのからだの実際は、わたしたちすべての人の内側にある新しいパーソンすべての総合計、すなわち、わたしたちすべての人の霊の総合計であって、一人の偉大な団体の人、一人の偉大な神・人、一人の新しい人としてのキリストのからだを生み出し、新エルサレムにおいて究極的に完成します。それは三一の神の新しい発明と新しい創造です ヘブル12:9後半．コリント4:16．エペソ2:10, 15．コロサイ3:10-11．コリント5:17．ガラテヤ6:15．啓21:2。
- B．わたしたちが内なる人の中へと増強されるとき、わたしたちの霊の中におられる内住の霊としてのキリストは、わたしたちの心の各部分を供給し、浸透し、所有し、管理して、わたしたちの心の中の新しいパーソンとなります エペソ3:16-17。
- C．エペソ第3章17節が啓示していることは、三一の神がわたしたちの中に入ってきて、要素としてのご自身をもって、また材料としてのわたしたちからのものをももって、建造の働きをしておられるということです。これは、マタイ第13章の種まく者のたとえによって例証されています：
- 1．主はご自身を命の種として、人の心、土の中にまきます。それは彼が彼らの中で

生長し、生きて、彼らの内側から表現されるためです。種は土の中にまかれて、土壌の中の養分をもって生長し、種と土壌の両方の要素から成る構成体を生み出します 3, 23節。

- 2 . わたしたちの内側には、神によって造られたある養分があり、それは彼がわたしたちの中に入ってきて、わたしたちの中で成長するための備えとなっています。神は人の霊を造り、人の養分を持たせ、人の心と共に神聖な種の土壌としました
参照、 ペテロ3:4。
 - 3 . わたしたちの命の成長の速度は、神聖な種にかかっているのではなく、わたしたちがどれだけ多くの養分をこの種に与えるかにかかっています。わたしたちがさらに多くの養分を供給すればするほど、さらに速く種は生長し、繁茂します
詩78:8 . マタイ5:3, 8 :
 - a . もしわたしたちが魂の中に、天然の人の中にとどまるなら、神聖な種の生長のための養分は何もないでしょう。しかし、もしわたしたちが内なる人の中へと増強され、またわたしたちの霊に注意を払い、わたしたちの霊を活用するなら、養分が供給され、キリストはわたしたちの心の中にご自身のホームを造ります
エペソ3:16-17 . ローマ8:6 . テモテ4:7 . 参照、ユダ19節。
 - b . 命の種としての主がわたしたちの中で成長して、わたしたちの満ち満ちた享受となるためには、わたしたちは完全に主に開き、主と協力し、わたしたちの心を徹底的に対処しなければなりません マタイ13:3-9, 19-23。
 - 4 . 一方において、神は要素としてのご自身をもってわたしたちを増強します。他方において、わたしたちは養分を提供します。これら二つの事を通して、神はキリストの中で、わたしたちの全存在において彼の内在的な建造、すなわち、神の家の建造を遂行します。
- D . キリストがわたしたちの心の中にご自身のホームを造ることによって、わたしたちは知識を超越したキリストの愛を認識します。そしてわたしたちは満たされて、三一の神の全豊満へと至り、彼の団体の表現となって、彼に栄光を得させます エペソ3:19-21 . 参照、創24:47, 53, 61-67。

